

みんなと一緒に、安全安心なまちづくり

第2回 ボウハンティア

(玉名市) 高校生たちがまちを守る

地域への感謝の気持ちが行動に



目指すは、きれいに整理されて気持ちの良い駐輪場

数年前のJR玉名駅周辺では、自転車やバイクの盗難など、街頭犯罪が頻繁に起こっていました。平成十五年に地元の住民が「民間パトロールセンター」を設置。駅周辺のパトロールや、駐輪場の整理など

月に数回行います。定期的に参加している玉名工業高校二年の前の川仁君は、「ちよとした好奇心で」。同・三嶋恵介君は「友達と一緒にやってみようかなと思って」。最初は、二人とも気軽な気持ちで参加したようです。「友達や知り合いに会った時は、まだ少し恥ずかしいです」と、照れくさそうに笑う前川君。「きれいになった駅を見た時と、「いつもありがとう」「頑張つてね」と声を掛けられた時が一番うれしです」と二人は話します。一回の活動時間は、約三十分。できる時に参加すればいいという気軽さが、継続の秘訣のようです。

「きれいな街づくり」が防犯の第一歩
「この駅の清掃が、防犯とどう関係あるのかわからない」と思っている方もいるかもしれませんが、「きれいな街づくり」が防犯の第一歩。街がきれいだと、すきがないので、犯罪も起こりにくくなるんです」と、同校生徒指導担当の江藤義英先生。実際に、駐輪場の自転車の盗難が減少し、駅の構内にたむろする若者の姿も見られなくなりました。「今年度は、小中学校までこの活動が広がられます。さらに玉名地区の防犯意識が高まることを期待します」。

に力を入れたことで、次第に駅周辺の環境が改善し、安心して利用できる場になりました。そこで、地域への感謝の気持ちを行動で表したいと、玉名駅を利用する高校生を中心に、平成十七年六月に結成されたのが「ボウハンティア」です。名前の由来は「防犯」と「ボランティア」を組み合わせたもので、高校生たちが自ら名付けたものです。
初めは気軽な気持ちで
放課後、鮮やかな黄緑色のユニフォームと帽子姿の高校生が、玉名駅の駐輪場の整理や清掃活動を行っています。玉名地区の高等学校六校(玉名高校、玉名工業高校、北稜高校、南関高校、専修大学玉名高校、玉名女子高校)で結成されたボウハンティアのメンバーです。活動は、各校が当番制で

「ありがとう」の言葉が励みです



「ありがとう」の言葉が励みです

知りたい! 県庁

皆さんの質問にお答えします。

Q 今年、福祉サービス第三者評価が始まると聞いたのですが、どういう制度ですか?

A ■安心して福祉サービスを受けられるようにするための制度です。保育所や特別養護老人ホームなど、すべての福祉サービスを対象に、7月から福祉サービス第三者評価制度がスタートしています。

この制度は、福祉サービスの質を、公正・中立な第三者機

関が評価します。

第三者評価は、県から認証を受けた評価機関に所属する専門的な資格や経験を持つ調査員が行います。①福祉サービス事業者の職員による「自己評価」、②利用者の満足度を把握する「利用者調査」、③評価機関が事業者を訪問して行う「訪問調査」の3つの調査内容を総合的に判断して行います。

■利用者の皆さん、事業者の皆さんともにメリットがあります。

利用者は、公表された評価結果を、事業者を選択する際の判断材料にすることができます。また、事業者は、第三者評価を受けることで、職員の気付きや改善すべき課題の共有化などが進み、サービスの質の向上に向けた具体的な目標設定が可能となります。

○利用者の皆さんへ

評価結果は、11月ごろから県のホームページに掲載する予定です。
「第三者評価」のページ
http://www.pref.kumamoto.jp/health/fukushi_hyouka/

○事業者の皆さんへ

この制度は義務ではなく任意の制度ですが、積極的な受審をお願いします。
※評価結果を公表した事業者には、県から受審認定証を交付します。



お問い合わせ先

熊本県健康福祉政策課 福祉のまちづくり室 地域福祉企画班
☎ 096-333-2201 FAX 096-387-5992
電子メール kenkoufukushi@pref.kumamoto.lg.jp

